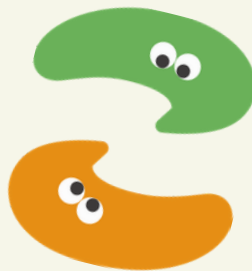


ねん がっ にち かい さい
2025年12月21日開催
じぎょう
事業レポート

ぐんまこどもみらい
ワークショップ2025
&
ぐんまこどもみらい
フォーラム2025

こえ
いろいろな声が



き
聴けてうれしかったね

ぐんま けんせい かつ か
群馬県生活こども課

はじめに

● イベントは何のため？

子どもや若者の意見を聴き、これから群馬県が進めることも向
けの取り組みに生かすため、2025年12月21日に、モニター限定
のワークショップと一般参加型のフォーラムを開催しました。



\ みんなの声がミライをつくる /

ぐんまこどもみらいワークショップ

日にち：2025年12月21日（日）

時間：10:00～11:30

場所：群馬県庁31階 GINGHAM（ギンガム）

参加者：ぐんまこどもモニター13名



\ みんなの声がミライをつくる /

ぐんまこどもみらいフォーラム

日にち：2025年12月21日（日）

時間：14:00～15:30

場所：群馬県庁32階 NETSUGEN（ネツゲン）

参加者：現地31名、オンライン3名

※フォーラム動画は群馬県YouTubeチャンネル
tsulunots にて公開



ほうこく 報告レポート



\ みんなの^{こゑ}声がミライをつくる /

ぐんまこどもみらいワークショップ

「^{こゑ}声を聴くって『^{なん}なんで』^{たいせつ}大切なの?」をテーマに、グループごとに話し合^{はな}って発表^{はっぴょう}しました。

【ワーク】～「^{なん}なんで?」を集めて「^{なん}なんですかん」をつくってみよう!～

①^{がっこう}学校の先生や^{おや}親など、^{おとな}大人に対して「^{なん}なんで?」って思^{おも}ったことをグループでシェア

②^{とも}友だちに対して「^{なん}なんで?」って思^{おも}ったことをグループでシェア

③^{みんな}みんなで見^みつけた「^{なん}なんで?」を^{ふか}深く掘^ほり下^さげてみよう!

・その「^{なん}なんで?」は、^{ばめん}どんな場^で面^でで出てきた?

・^{なん}なんで「^{なん}なんで?」って思^{おも}ったの?

・その「^{なん}なんで?」を^の乗^り切^きるには?

「^{なん}なんですかん」を^{みんな}みんなでシェア（^{はっぴょう}発表）

グループ

Aチーム ^{しょうがくせい}小学生3名、^{ちゅうがくせい}中学生1名

Bチーム ^{しょうがくせい}小学生3名

Cチーム ^{しょうがくせい}小学生1名、^{こうこうせい}高校生1名

Dチーム ^{しょうがくせい}小学生2名、^{ちゅうがくせい}中学生1名、^{こうこうせい}高校生1名

ファシリテーター（^{ほうじん}NPO法人キッズバレイ）

・メインファシリテーター ^{ほしの あさみ}星野 麻実さん

・テーブルファシリテーター

Aチーム：^{にわ いくよ}丹羽 育代さん Bチーム：^{そのだ なお}園田 奈緒さん

Cチーム：^{あべ さえこ}阿部 沙衣子さん Dチーム：^{ほうじょう さき}北條 早さん



たのしかったな



うんうん!

ほうこく 報告レポート

～具体的な発言（抜粋）～

※発言内容は原文の意図を損なわない範囲で、
表現を整理したり、補足説明を加えたりしています。

Aチーム 小学生3名、中学生1名

①学校の先生や親など、大人に対して「なんで？」って思ったこと

- 大人はいろいろ自分のためにしてくれているので、「なんで？」と思いません。
- 髪を染めるのはなんで？黒のままでいいと思います。
- 大人はお金をたくさん持っているのはなんで？
- スマホを買ってくれないのはなんで？
- 敬語を使わなければならないのはなんで？（敬語を使えていない人もよくいるという声がありました。）

②友だちに対して「なんで？」って思ったこと

- 塾に行っていると頭がいいと思われるのはなんで？
- 授業中に寝てしまうのはなんで？
- 持久走が速い人はリレーも速いと思われるのはなんで？
- あおってくるのはなんで？
- 気づかいができないのはなんで？

③みんなで見つけた「なんで？」を深く掘り下げてみよう！

「あおってくるのはなんで？」「気づかいができないのはなんで？」
という意見が多く出ました。モニター同士で話し合ううちにこの二つの「なんで」は似ているのでは？という意見がでたため、比べながら深掘りを行いました。
話し合いの中で、あおってくる行動は相手を意識してわざと言っている場合が多いのに対し、気づかいができない行動は本人にその自覚がないことも多いという違いに気づきました。このことから、同じように見える行動でも、「意識的か無意識か」という点で大きな違いがあるという考えにまとまり、多くの人が共感しました。

ほうこく 報告レポート

Aチーム しょうがくせい めい ちゅうがくせい めい
小学生3名、中学生1名

③みんなで見つけた「なんで？」を深く掘り下げてみよう！

「スマホを買ってくれないのはなんで？」

という疑問については、目が悪くなることを心配しているのではないかと、という考えに自然と落ち着きました。

「塾に行っていると頭がいいと思われるのはなんで？」

という問いについては、塾に行っても成績がよくない人もいたり、（塾に行っていなくても）授業をしっかりと聞いていれば分かることも多いという意見が出ました。そのため、「なんで？」と聞かれた時には、授業をちゃんと聞けば点が取れることを伝えればよいのではないかと、という前向きな考えに話し合いが広がっていきました。

ファシリテーター（チームでお話を聴いていた人）の感想



参加者たちからは、大人に対して「疑問を持ちにくい」「してもらっている立場として遠慮してしまう」という意見が寄せられました。一方で、行動や価値観の違いに対する率直な疑問も多く共有されました。友だちに対しては、周囲からの評価や思い込みに対する違和感が多く見られ、思春期の人間関係に関する悩みもうかがえました。

対話を深める過程では、同じ行動に見えても「意識的か無意識か」という背景の違いに気づくことができ、他者の立場や状況を想像する視点についても、参加者同士で考える様子が見られました。正解を求めるのではなく、互いの声を聴き合いながら考えを広げる機会となりました。

報告レポート

～具体的な発言（抜粋）～

※発言内容は原文の意図を損なわない範囲で、
表現を整理したり、補足説明を加えたりしています。

Bチーム 小学生3名

①学校の先生や親など、大人に対して「なんで？」って思ったこと

- 予算があるのに、やらないのはなんで？政治家に対して疑問を感じました。
- ダメだと分かっていることをするのはなんで？（盗撮などの犯罪について話が出ました。）
- 「自分は大丈夫」と思ってしまうのはなんで？（闇バイトに引っかかる人がいることが例にあがりました。）
- 大人が問題を自己解決しようとするのはなんで？

②友だちに対して「なんで？」って思ったこと

- 人の話を聞かずに、自分の話ばかりするのはなんで？
- 女子はお絵描きばかりしているのはなんで？
- 男子は朝から外で遊ぶのはなんで？
- 学校の引き出しや扉に落書きをするのはなんで？（悪口が書かれていることもあるという話もあがりました。）
- 先生が「プリントを運んで」と言うのと、みんながいっせいに動くのはなんで？授業中は静かで手もあがらないのに、その時だけみんな動くのはなんで？

報告レポート

Bチーム しょうがくせい 3名

③みんなで見つけた「なんで？」を深く掘り下げてみよう！

せんせい 「先生が『プリントを運んで』^{はこ} と言うと、みんながいっせいに動くの^{うご} はなんで？」

ぎもん という疑問について話し合いました。授業中や休み時間^{じゅぎょうちゆう やす じかん}に、先生が「～してくれる？」^{せんせい} と頼むとみんながいっせいに動きます。それをしても得をするわけではないし、授業^{じゅぎょう} 中、先生に質問をされても手をあげない人が多いのに、その時は動くことを不思議に思^{ふしぎ おも} いました。話し合いを進めていく中で、実はその状況に「とまどっている人」もいるこ^{ひと} とが分かりました。

そこから、「どうすればその、とまどいを減らせるか^へ」という視点で深掘りを行いました^{してん ふか ぼ}。解決方法としては、先生が個人を指名してお願いする方法や、係を決めて役割分担^{おこな} をして動く方法、目が合った人が行くルールにするなど、具体的な工夫を考えました。

ファシリテーター（チームでお話を聴いていた人）の感想



いけん もと 意見を求めると、要点を整理した明確な発言^{ようてん せいり めいかく はつげん} がされました。小学生であり^{しょうがくせい} ながら、場の状況を理解し、適切なタイミングで発言する様子が見られま^{ば じょうきょう りかい てきせつ はつげん ようす み} した。また、「友だちに対するなんで？」を深める中で、年齢に応じた率直^{ねんれい おう そつちよく} な発言もありました。「小学校^{しょうがっこう}」という集団生活の中で、葛藤しながらも、^{はつげん} 日々意欲的に過ごしている様子^{ひび いよく てき す ようす} がうかがえました。

ほうこく 報告レポート

～具体的な発言（抜粋）～

※発言内容は原文の意図を損なわない範囲で、
表現を整理したり、補足説明を加えたりしています。

Cチーム 小学生1名、高校生1名

①学校の先生や親など、大人に対して「なんで？」って思ったこと

- 小さいころは触れていた虫に、触れなくなるのはなんで？
- 「高校生らしく」「女の子らしく」「小6らしく」しなさいと言われるのはなんで？
（「高校生なのだから高校生らしく振る舞いなさい」と言われることに納得できないという意見や、「小学校の最高学年として下級生のお手本になる」よう求められるのがつらい時があるという声が出ました。）
- 英語を勉強しなければいけないのはなんで？（英語ができると困らないと言われるが、中国語など他の言語もあるのに、英語だけなのが不思議だ。という意見がありました。）
- 小学校には校則がないのに、中学校や高校から校則ができるのはなんで？

②友だちに対して「なんで？」って思ったこと

- 仲良くなりたくて話しかけても、心を開いてくれないのはなんで？何度も話しかけているのに、会話が续かず仲良くなれないことがあります。
- 学校では話さないのに、ネット上ではたくさん話してくれるのはなんで？SNSではあいさつなど交わすのに学校では話しかけてくれないことがあります。
- 男女の友情は成立しますか？（仲がいいだけなのに、付き合っていると思われたり、楽しく話しているだけなのに、周りからはやしたてられるのが嫌だという意見がありました。しかし、自分では嫌だと思うのに、他の人を見るとそう思うってしまうこともあるという話にもなりました。）
- 部活以外の時間でも、部活の同期と一緒にいることが多いのは、なんで？

ほうこく 報告レポート

Cチーム しょうがくせい 1名、こうこうせい 1名

③みんなで見つけた「なんで？」を深く掘り下げてみよう！

「部活以外の時間でも、部活の同期と一緒にいることが多いのは、
なんで？」

という疑問について話しました。ひとによっては部活中だけでなく、学校内外でも同じ部活の人と過ごすことが多いです。その一方で、部活に関係なく幅広く仲良くしている人たちもいます。その違いを比べる中で、「気がつくと、部員同士で固まっている」という感覚が共有されました。

「男女の友情は成立しますか？」

男女の友情が成立すると思う理由を深掘りして考えると「ずっと友だちでいたい」や「もし男女の友情が成立していなかったらみんな付き合っていることになる」という話ができました。また、自分たちは友だちだと思っているのに、周りに冷やかされるのが嫌だという意見も出ました。

そういった嫌な思いをさせないために、本人に事実や気持ちを確認することが大切だという意見になりました。感覚は人それぞれ違うので、決めつけず、聴いたり話したりすることが大切だということが分かりました。

ファシリテーター（チームでお話を聴いていた人）の感想



身近にある「なんで？」を、みんなと一緒に立ち止まって深く考える時間を持てたことが印象的でした。今日出てきた一つひとつの「なんで？」や、その乗り越え方は、学校や家庭といった身近な社会を見直したり、少しずつ変えていくきっかけになるとおもいます。これからも、気づいたことや感じたことを大切にしながら、自分の言葉で問いを持ち続けていってほしいです。

ほうこく 報告レポート

～具体的な発言（抜粋）～

※発言内容は原文の意図を損なわない範囲で、
表現を整理したり、補足説明を加えたりしています。

Dチーム 小学生2名、中学生1名、高校生1名

①学校の先生や親など、大人に対して「なんで？」って思ったこと

- アニメが好きだけど、大人になるとドラマが好きになるのはなんで？
- 「主体的に」と言われるけれど、意味がよく分かりません。通知表や評価項目にも書かれています。
- 大人は言ったことをすぐ忘れるのはなんで？（この意見には、多くの人が共感し、パパやママもすぐ忘れるという声が出ました。）
- すぐ怒るのはなんで？（怒らずに話してほしいという意見がありました。）

②友だちに対して「なんで？」って思ったこと

- 静かな子とうるさい子がいるのはなんで？
- 好きな子同士で固まってしまうのはなんで？
- 足が速い子がキラキラして見えるのはなんで？（この意見には多くの人が共感しました。陸上大会でトロフィーをもらったり、体育祭のリレーで目立ったりすることが理由としてあがりました。）
- 友だちと一緒にいる時、自分は沈黙でも平気だけれど、友だちは気まずいと感じることがあるのはなんで？

ほうこく 報告レポート

Dチーム しょうがくせい 2名、めい ちゅうがくせい 1名、めい こうこうせい 1名

③みんなで見つけた「なんで？」を深く掘り下げてみよう！

おとな い わす
「大人は言ったことをすぐ忘れるのはなんで？」

という問いについて考える中で、一方で大人には相談に乗るのがうまい、字がきれい、といった強みもあることに気づきました。それは長く生きてきた経験があるからだという意見にまとまりました。

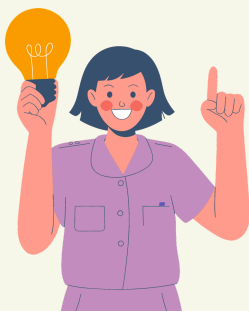
あし はや こ み
「足が速い子がキラキラして見えるのはなんで？」

という問いについては、同じくらい努力していても、足の速さは運動会やリレーなどで目立ちやすいのに対し、絵がうまいことや書道が得意なことは目立つ機会が少ないという声が出ました。

その「なんで？」は学校生活や運動会、体力テストなどの場面で強く感じられていました。同じくらい努力しているのに、ほめられる量が違うと感じたことが、疑問の背景にあることが分かりました。

最後に、その「なんで」をどう乗り越えるかを話し合い、小中学生のうちから、いろいろなことで活躍できる場をつくることや、みんなで褒め合える環境をつくるのが大切だという考えにまとまりました。

ファシリテーター（チームでお話を聴いていた人）の感想



担当チームは、小・中・高校生という異なる世代の子どもたちで構成されていましたが、それぞれの視点から率直な意見を交わし、互いの話を聞き合いながら活発な議論が行われていました。

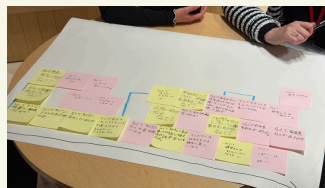
学校生活を送る子どもたちにとって、異なる学年の人や大人とともに一つのテーマについて議論する機会が多いとは言えないため、こどものうちから、さまざまな世代や考えの人と議論する場があることは貴重な機会であると感じました。

ほうこく 報告レポート

ゼンタイショカン 全体所感



今回のワークショップを通して、こどもたちが日常の中で感じている「なんで？」には、大人が見落としがちな違和感や本音が含まれていることがうかがえました。話し合いが進むにつれて、こどもたちは不満を並べるのではなく、行動の背景や相手の立場に目を向けながら、自分なりの考えを深めていく様子が見られました。こどもたちが次第に自分の考えを深めていく姿から、急いで答えを求めるのではなく、安心して考えや気持ちを出せる場を用意することの大切さが感じられました。また、評価のされ方や声の届きやすさに対する気づきは、こどもたち自身が社会と向き合い始めている表れでもあると感じます。今回のワークショップを通じて得られた声や視点を大切にしながら、今後もこどもたちの思いや考えが生きる場づくりを続けていくことは意義深いと考えています。



「なんで？」を
かんがえるのは
たのしい！12

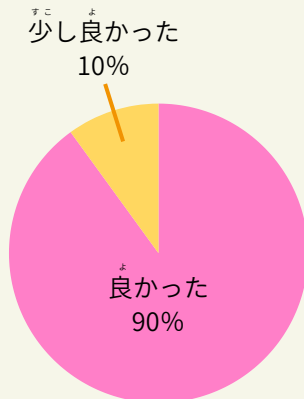
さんかしゃ 参加者アンケート



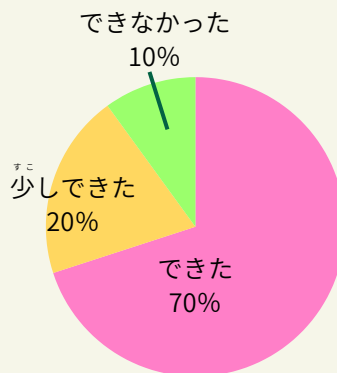
さんか 参加してくれた子どもモニターの回答

しつもん 質問：ワークショップに参加
さんか してみてもうでしたか？

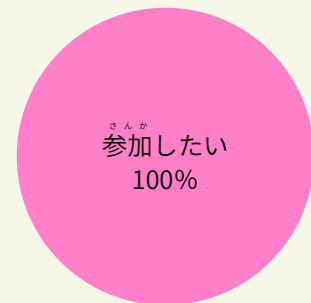
(n=10)



しつもん 質問：自分の思っていることを
さんか 参加している皆さんに伝えるこ
おも となができましたか？ (n=10)



しつもん 質問：こういうイベントが
さんか あれば、また参加してみたい
ですか？ (n=10)



しつもん 質問：ワークショップに参加してみた感想をぜひ聴かせてください。

- はじめてのさんか参加だけど、スムーズにできて良かったです。
- じぶん自分の意見を自由に言えるいい場だと思いました。
- じぶん自分の意見を他人と共有できたり、他の人の意見も聴けて楽しかったです。
- いま今まで話したことがない人と意外とすぐ打ち解けられてよかった。友達にもワークショップをすす勧めたいと思いました。
- いろいろな人と交流したことで、とても楽しんでできました。
- たのしかったです！ファシリテーターがどの方も明るくフレンドリーで、最高でした！ただ、ワークショップ形式で話す機会も多いので、飴ではないお菓子のほうがいい気がしました。
- おもしろ面白かったです。
- とても楽しかったです♪

さんかしゃ 参加者アンケート

さんか ほごしゃ かいとう
参加してくれたこどもモニターの保護者の回答



しつもん こ かつどう
質問：お子さんがぐんまこどもモニターの活動（オンラインアンケート・ワークショップ）に参加したことについて、率直な意見を聴かせてください。

- がっこう いがい ねんだい かた はな あ きかい きちよう けいけん
● 学校以外の、いろいろな年代の方と話し合う機会があり、貴重な経験となりました。
- きちよう けいけん おも きかい とお おとな
● 貴重な経験ができたと思います。こういった機会を通して、大人たちがこどもたちの考えや気持ちを知ることが大事だと感じます。
- ふだん ふか かんが ことがら あらた かんが きも ことば
● 普段は深く考えることがない事柄について、改めて考えたり、気持ちを言葉にして表現するという機会を得ることができて、またそういうことをしている同じくらいの子を見て、何か感じたりしてもらえたらいいと思いました。
- ほんにん じゅうじつ じかん い さんか よ
● 本人が充実した時間だったと言っていたので、参加して良かったです。
- よ けいけん おも ほか こ いけん こうかん で
● 良い経験になったと思います。ワークショップでは他の子たちと意見交換が出来て楽しかったようです。弟も興味を持ったので、来年は兄弟で参加出来たら良いなと思いました。
- ふだん せいかつ かんが はな かんが はな
● 普段の生活だけではあまり考えないことや、話さないことを、考えたり話したりできたので、良い経験になったと思います。まだ知識があまりないこともありますが、ないなりに考えることにも意味があると思いました。
- じぶん きょうみ も さんか やくわり りかい と く
● 自分から興味を持って参加しました。モニターとしての役割を理解し、取り組みもうという姿勢が見られました。
- じぶん いけん はな きかい おも
● 自分の意見を話せるいい機会だと思います。
- ほんにん い よ
● 本人がやりたいと言ったので、良かったです。
- ほんにん まか じぶん えら かつどう さんか
● 本人に任せているので、自分で選んだ活動に参加しているだけではあります。そこで何かを学びとってくれればと思います。

ほうこく 報告レポート



\ みんなの^{こえ}声がミライをつくる /

ぐんまこどもみらいフォーラム

『ワイワイ考えよう！声からはじまるみんなのみらい』をテーマに
とうだんしゃ^{かんが}かいじょう
登壇者と会場のみなさんで、ワイワイトークをしました。

がいよう 概要

ひ 日にち：2025年12月21日（日）

じかん 時間：14:00～15:30

ばしょ 場所：群馬県庁32階 NETSUGEN（ネツゲン）

さんかしや 参加者：現地31名、オンライン3名

※フォーラム動画は群馬県YouTubeチャンネル
tsulunosにて公開

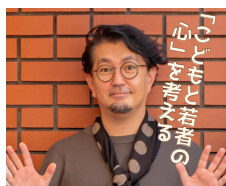
はなし お話をした人



しかい ないとうさとし
司会・内藤聡さん
ラジオパーソナリティ



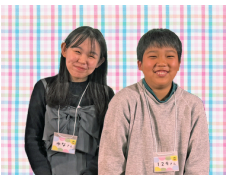
とうだん にしざき めぐみ
登壇・西崎萌さん
Everybeing 共同代表



とうだん おくだ ゆういちろう
登壇・奥田雄一郎さん
共愛学園前橋国際大学 心理・人間文化コース長 教授



とうだん ほしの あさみ
登壇・星野麻実さん
NPO法人キッズバレイ代表理事



いづく
ゆなさん・129さん
令和7年度ぐんまこどもモニター

ことしも
ワイワイ！



たくさん
おはなし
したね★

ほうこく 報告レポート



\ みんなの声がミライをつくる /

ぐんまこどもみらいフォーラム

ぐたいてき
具体的には3つのトピックについて話しました。
かいじょう
会場からいろいろな声をもらえました。

テーマトーク①「ケンリってなーに？」

テーマトーク②「話を聴くって『なんで』大切なの？」

テーマトーク③「“こどもまんなか”ってなんだろう？」



ワイワイ考えよう！
声からはじまるみんなのみらい



ぐんまこどもみらいフォーラム2025

<https://youtu.be/mzqkacBcY1o>

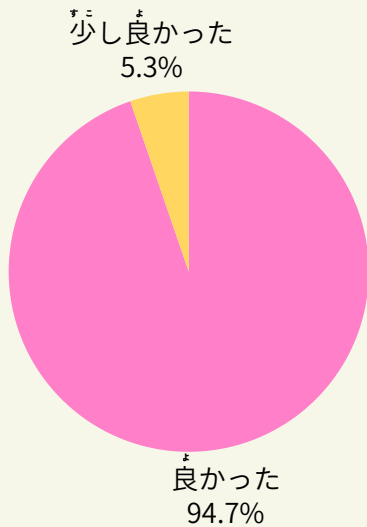
とうじつ
当日の様子は、群馬県公式YouTube
ようす
チャンネル「tsulunos」で公開！
こうかい
見えてみてね♪



さんかしゃ 参加者アンケート

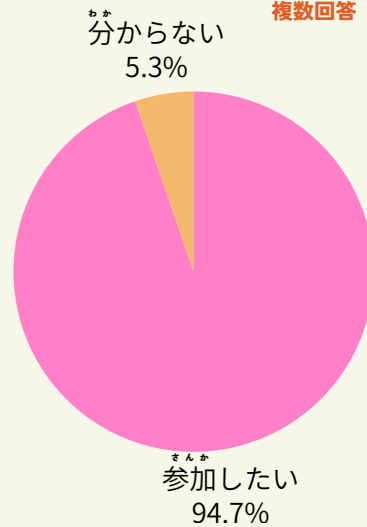
質問：参加してみてどうでしたか？

複数回答 (n=19)



質問：こういうイベントがあれば、
また参加してみたいですか？

複数回答 (n=19)



質問：印象に残ったトークや感想をぜひ聴かせてください。

【こども・若者】

- 内藤さんがおもしろかったです。
- 大人と子供で社会をつくる。
- 親子でセットではなく、こどもも一人の人間として、話を聞いてもらえるということはいいと思いました。
- こども真ん中のお話が良かったです！
- 最初はこどもまんなかについて間違った見解を持っていたけど、最終的にちゃんと理解できたので、こどもまんなかのトークです。
- こどもまんなかで体でどこにあるか話したとき。
- 「こどもまんなか」のまんなかはどこか考えているとき。
- なんでをなんでするのが楽しかったです。
- シロクマの水族館のお話（家族で話し合いをしたこと）が印象に残りました。

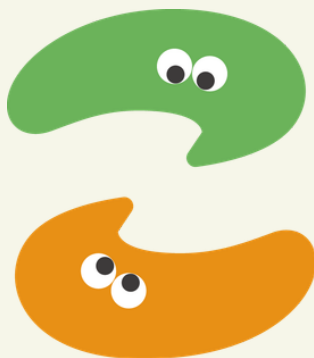
さんかしゃ 参加者アンケート

質問：印象に残ったトークや感想をぜひ聴かせてください。

【おとな】

- 「こどもまんなか」初めて聞く言葉だったので興味深く理解が深まりました。
- 正解はたくさんある、その中のベストを考えていく。だけど不正解はある。
- 全部YESは共感ではない。大人が越えられる壁になることが、大人だからできること。
- こどもの声を大切にすることは、言いなりになることとは違う。対話して一緒に考えること。大人が決めてしまうことは×。
- 対話して心地よい環境。みんなにスポットが当たる場となる。平等ではない対等であること。
- 「対等」の話。「おとなもこどももまんなか」。
- 登壇者の129さんの率直な回答が毎回素敵でした。
- 自分で考えて自分の言葉で話しているなと感じました。
- 内藤聡さんとパネリストのトークのかけあい。
- こどもへの応え方、主張の裏にある本当の希望や気持ちを引き出す重要さを改めて感じました。
- どうしても親の自分も心の余裕がないときもあって。そんなときに、こどもが信頼できる、話を聞いてもらえる大人が増えるといいなと思った。
- こども目線での「なんで」、大人はやってるのにこどもはなぜダメなの？そんな疑問に対して、一緒に「なんで」なのか考えられると、私たち大人もちゃんとこども（だけではないけれど）と向き合うことができるようになって感じました。また、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。登壇されていた、ゆなさんと129さんが、難しい質問にも発言を諦めることなく、ちゃんと自分の言葉で話していたのがとても印象的でした。話す機会が多い事で、自分自身で自分の考え方を知っていくのでしょうか。お2人ともその機会に恵まれた環境だった。となると、全てのこどもたちにそういった機会をつくれるのは大人たちかも知れませんね。いろいろと自分事として考えられる機会となりました。ありがとうございました。
- 129さんから「こどもまんなかは無理では」という話がありました。そうだなと思いました。こどもも真ん中の方がわかりやすいですか？今までだと大人真ん中でこどもについてこさせる印象だったかと思いますが、みんなが真ん中になる。そのために大人は意識的にこどもの意見を聞く必要がある、ということなんだろうなと思いました。
- こどもたちは思っている以上に、大人のことを考えているし、宝なんだと思いました。
- こどもの話を真摯に聴ける大人になりたいと思いました。

みんなの^{こゑ}声を



^{たいせつ}大切にしていくな

^{きょうりょく}
ご協力ありがとうございました。
みなさんの^{こゑ}声は^{こんご}今後の^{ぐんまけん}群馬県の
^{とりくみ}取組に^い生かしていきます。

^{ぐんまけん}群馬県 ^{せいかつ}生活 ^かこども課